



熱中症を予防しよう！ 「STOP！熱中症 クール ワークキャンペーン」

キャンペーン期間：平成30年5月1日～9月30日
～～～ 準備期間：4月 ・ 重点取組期間：7月 ～～～

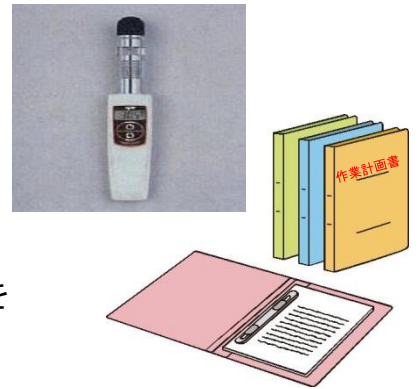
準備期間(4月)中に実施すべき事項

➤ WBGT値(暑さ指数)の把握の準備

JIS規格に適合したWBGT測定器を準備しましょう。

暑さ指数の把握は、熱中症対策の第一歩です。

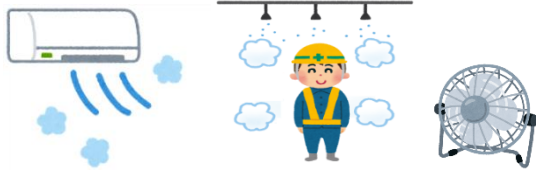
WBGT値を安価で精度よく測定するため、平成29年3月にJIS B 7922が定められました。



➤ 作業計画等の策定

状況に応じた**作業の中止**、**休憩時間の確保**など夏期の暑熱環境下に対応した作業計画をあらかじめ策定しておきましょう。

➤ 設備対策の検討



簡易な屋根の設置、通風又は冷房設備の設置、ミストシャワー等による散水設備の設置を検討しましょう。

➤ 服装等の検討

透湿性及び通気性の良い作業着、帽子、ヘルメット等を準備しましょう。冷却機能のある作業着等の導入も検討しましょう。



➤ 休憩場所の確保の検討

冷房を備えた休憩場所又は日陰等の**涼しい休憩場所の確保**を検討しましょう。



➤ 教育研修の実施

各級管理者、労働者に対し**熱中症予防のための教育**を行いましょ。



➤ 熱中症予防管理者の選任等

熱中症の予防を管理する**責任者を選任**するとともに、責任体制を明確にしましょう。



本期間(5月から9月)中に実施すべき事項

WBGT値の評価結果に基づき、労働衛生の3管理を進めましょう。

●作業環境管理

➤ **WBGT値(暑さ指数)の低減等** 準備期間中に検討した対策を実施しましょう。

➤ **休憩場所の整備等** 休憩場所には、氷、冷たいおしぼり、水風呂、シャワー等の身体を適度に冷やすことのできる物品及び設備を設けましょう。また、水分及び塩分の補給を定期的かつ容易に行えることができるよう飲料水、スポーツドリンク等の備付け等を行いましょ。



●作業管理

➤ **作業時間の短縮等** WBGT基準値を大幅に超える場合は、原則として作業を中止しましょう。WBGT基準値を大幅に超える場所で、やむを得ず作業を行う場合は、次に留意して作業を行いましょ。

- ① 単独作業を控え、休憩時間を長めに設定する。
- ② 作業中は心拍数、体温及び尿の回数・色等の身体状況、水分及び塩分の摂取状況を頻繁に確認する。



➤ **熱への順化** 7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に長くしましょ。夏季休暇などの後も同様に順化期間が必要です。

➤ **水分及び塩分の摂取** 定期的に水分、塩分を取りましょ。



➤ **服装等** 準備期間中に検討した服装を着用しましょ。なお、次の衣類を着用している場合はWBGT基準値に下の補正值を加える必要があります。

衣類の種類	WBGT値に加えるべき補正值	衣類の種類	WBGT値に加えるべき補正值
作業服(長そでシャツ・ズボン)	0	SMSポリプロピレン製つなぎ服	0.5
布(織物)製つなぎ服	0	ポリオレフィン布製つなぎ服	1
二層の布(織物)製服	3	限定用途の蒸気不浸透性つなぎ服	11

●健康管理

➤ **健康診断結果に基づく対応等** ①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全等の持病がある労働者は、医師の意見を聞いて配慮をしましょ。

➤ **日常の健康管理等** 前日の飲みすぎなどないようにしましょ。当日の朝食はしっかり取りましょ。



➤ **労働者の健康状態の確認** 管理者は作業開始前や作業中の巡視で労働者の健康状態を把握しましょ。複数作業では労働者同士がお互いの様子に注意しましょ。

